

富山眼科 情報室

⑮

スポーツゴーグルを付けて バスケットボールを 楽しみましょう

右上の写真はカリーム選手です。1969～1989 年まで NBA で大活躍しました。彼は試合中、眼球保護用のスポーツゴーグルを装着してプレーしました。大切な目を守るためです。

バスケットボールに限らず、すべての球技について言えることですが、試合中に ボールや他人の手などが目にぶつかるという「トラブル」は一定の確率で必ず起こります。目にボールが当たると、眼球の中で出血したり、網膜がはがれたりして、最悪の場合、

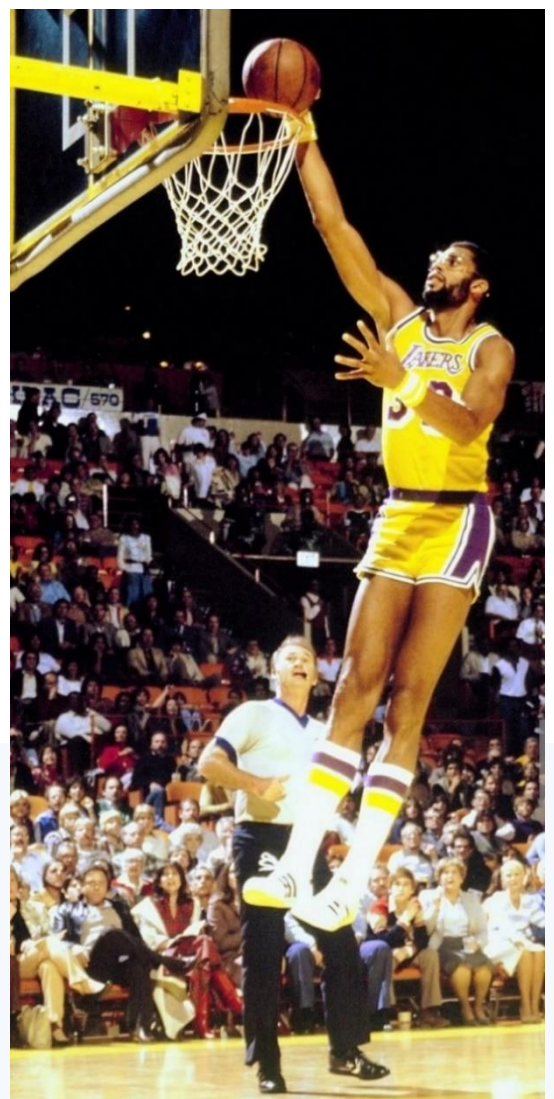
失明することもあります。試合中の眼球打撲は「予期せぬトラブル」ではありません。「**眼球打撲は必ず起こる**」と考えて、その対策をとって、安全にスポーツを楽しんで下さい。

カリーム選手のように、眼球保護用のスポーツゴーグルを装着してプレーすれば、目を守ることができます。ボールが目当たっても失明することは ほとんどありません。安心して、安全に、プレーすることができます。バスケットボール等の球技をする時には、必ず眼球保護用のスポーツゴーグルを使いましょう。

ポリカーボネイト製の頑丈な物が市販されています。

子供用も用意されています。視力の補正も可能です。

⇐必ず起こるトラブルの一例



クイズ

ホタテガイ(帆立貝)に、目はいくつあるでしょうか？

①～⑤ でお答えください。

- | | |
|-----------------|-----------|
| ① 0個(目なんかありません) | ④ 10個ぐらい |
| ② 1個(ひとつあれば充分) | ⑤ 30個ぐらい |
| ③ 2個(人と同じ) | ⑥ 100個ぐらい |



(帆立貝のソテー)

クイズの答え

答 ⑥ 100 個ぐらい

個体にもよりますが、80 個～120 個ぐらいの目があります。大きなものでは200個以上もあるようです。右の写真は海水中の帆立貝です。1mm程の青い小さい丸がすべて目です



海水中の帆立貝 帆立貝の目の拡大

帆立貝の目は反射望遠鏡

図 C

遠位網膜は、素早く動く遠くの物(敵等)を捉えます。

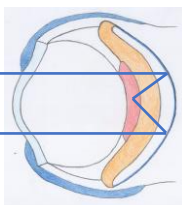
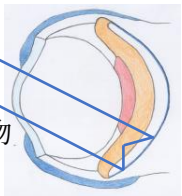


図 D

近位網膜は感度が高く、周辺部の細かい物(餌等)を捉えます。



人の眼球は前方に角膜と水晶体があり、一番奥に網膜があります。水晶体で集めた光を網膜に集めて物を見ます。(図 A)

帆立貝の目はレンズのすぐ後ろに網膜があり、一番奥に凹面鏡があります。(図 B) ホタテガイの水晶体は、光を集める働きがほとんどなく、凹面鏡に反射させて光を網膜に集めます。網膜は 2 枚あり、凹面鏡に近い方を近位網膜、遠い方を遠位網膜といいます。

遠位網膜はやや小さく、外敵が突然現れた時など、光の素早い変化に対応します。(図 C)

近位網膜はそれより大きめで、周囲の細かいもの(餌になるプランクトン等)を見ています。(図 D)

図 A 人の眼球の構造

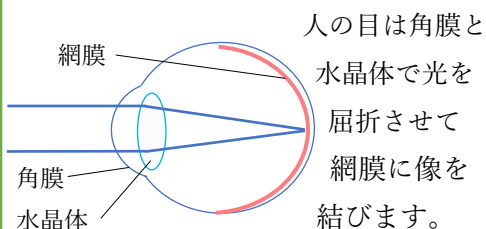
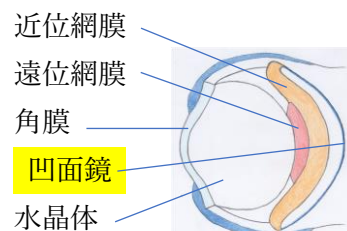


図 B 帆立貝の目の構造



富山眼科 診療案内 〒432-8002 浜松市中央区富塚町2043-1 ☎053-475-6000

診療時間	日	月	火	水	木	金	土
AM9:00～12:00	×	○	○	×	○	○	○
PM2:00～ 5:30	×	○	○	×	○	○	×

水曜、日曜、祝日…休診

受診時には、保険証、各種受給者証、又はマイナンバーカードをお持ち下さい。予約制ではありません。来院された順に診察いたします。院内 禁煙 にご協力下さい。



至大平台